

# 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月7日

上場会社名 相模ゴム工業株式会社  
 コード番号 5194 URL <http://www.sagami-gomu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大跡 一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営計画室 室長 (氏名) 吉田 邦夫  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 東

TEL 046-221-2311

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,185	—	70	—	1	—	△21	—
20年3月期第1四半期	1,117	3.3	79	—	88	—	40	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	△2.00	—	—	—
20年3月期第1四半期	3.68	—	—	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
21年3月期第1四半期	8,118	—	2,950	—	34.2	—	254.64	—
20年3月期	7,746	—	3,232	—	39.2	—	278.89	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 2,773百万円 20年3月期 3,037百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円	円	円	円	円
20年3月期	—	—	—	10.00	10.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	2,350	—	120	—	110	—	50	—	4.59	—
通期	4,700	1.6	250	119.3	220	124.5	100	—	9.18	—

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	10,937,449株	20年3月期	10,937,449株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	46,944株	20年3月期	46,701株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	10,890,677株	20年3月期第1四半期	10,897,140株

### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1 上記の予想は、当社が現在入手している情報に基づき作成しているものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## ・定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、原油をはじめ原材・素材価格の高騰やサブプライムローン問題に端を発した金融不安による米国経済減速の影響等により企業収益が下降へ転じ、輸出や個人消費も鈍化し、景気の先行きに対する不透明感が強まってまいりました。

このような環境のもと、当グループは、経営資源の集中化を図り、医療機器事業の売上の増大を実現し、プラスチック事業においてはコスト削減に努めてまいりました。

当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高につきましては、11億8千5百万円、営業利益7千万円、経常利益1百万円となり、当第1四半期に発生した為替差損を補いきれず、四半期純損失は2千1百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ3億7千1百万円増加の81億1千8百万円となりました。これは主に、現預金の増加によるものであります。

負債合計は、前期末に比べ6億5千3百万円増加の51億6千7百万円となりました。これは主に、借入金増加によるものであります。

純資産合計は、前期末に比べ2億8千1百万円減少の29億5千万円となりました。これは主に、配当実施に伴う利益剰余金と為替換算調整勘定の減少などによります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績の見通しにつきましては、原材・素材価格の高騰や米国経済減速の影響が懸念され、わが国経済は不透明な状況下にあります。

当グループは、今後も経営資源を基幹事業に集中し、国内外を問わず、売上の増大を図るとともにグループ全体のコスト削減に努めてまいります。

業績予想(平成20年5月22日発表)の見直しは行っておりません。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ・簡便な会計処理

## ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

## ② 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

## ③ 原価差額の配賦方法

標準原価を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に前連結会計年度末の配賦割合をもとに配賦しております。

## ④ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

## ⑤ 経過勘定項目の算定方法

前連結会計年度の実績をもとに合理的な算定方法により計上しております。

## ⑥ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

## ・四半期特有の会計処理

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)

を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益が5,664千円減少しております。

- ③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号）を当第1四半期連結会計期間から適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これにより、利益剰余金が26,752千円減少しております。なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,123,768	594,723
受取手形及び売掛金	1,554,421	1,531,639
製品	255,173	269,274
原材料	377,477	372,955
仕掛品	652,776	669,708
貯蔵品	83,264	116,447
繰延税金資産	74,257	72,816
その他	87,698	82,543
貸倒引当金	△76,529	△65,076
流動資産合計	4,132,307	3,645,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,841,067	1,878,208
減価償却累計額	△1,144,399	△1,143,977
建物及び構築物(純額)	696,667	734,231
機械装置及び運搬具	4,585,340	4,841,705
減価償却累計額	△3,136,679	△3,267,688
機械装置及び運搬具(純額)	1,448,661	1,574,016
土地	960,498	968,745
建設仮勘定	386	—
その他	245,203	248,308
減価償却累計額	△214,699	△216,807
その他(純額)	30,504	31,500
有形固定資産合計	3,136,718	3,308,495
無形固定資産		
のれん	93,212	99,408
その他	4,652	4,012
無形固定資産合計	97,864	103,420
投資その他の資産		
投資有価証券	697,735	637,091
その他	65,201	65,840
貸倒引当金	△11,732	△13,577
投資その他の資産合計	751,205	689,354
固定資産合計	3,985,787	4,101,270
資産合計	8,118,095	7,746,304

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	595,340	542,046
短期借入金	2,690,135	2,666,748
未払法人税等	27,136	93,038
賞与引当金	105,585	62,723
その他	208,743	152,481
流動負債合計	3,626,941	3,517,037
固定負債		
長期借入金	1,152,200	660,000
繰延税金負債	108,813	84,832
退職給付引当金	78,788	52,594
役員退職慰労引当金	201,055	199,577
固定負債合計	1,540,856	997,004
負債合計	5,167,798	4,514,042
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,436	547,436
資本剰余金	681,385	681,385
利益剰余金	1,840,408	1,997,871
自己株式	△15,123	△15,050
株主資本合計	3,054,107	3,211,642
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	264,296	227,697
為替換算調整勘定	△545,254	△402,004
評価・換算差額等合計	△280,958	△174,306
少数株主持分	177,147	194,925
純資産合計	2,950,296	3,232,261
負債純資産合計	8,118,095	7,746,304

## (2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
 (自平成20年4月1日  
 至平成20年6月30日)

売上高	1,185,032
売上原価	815,767
売上総利益	369,265
販売費及び一般管理費	299,245
営業利益	70,020
営業外収益	
受取利息	105
受取配当金	6,538
その他	7,357
営業外収益合計	14,001
営業外費用	
支払利息	14,433
為替差損	67,949
その他	198
営業外費用合計	82,582
経常利益	1,439
特別利益	
固定資産売却益	3
特別利益合計	3
特別損失	
固定資産除却損	2,161
その他	123
特別損失合計	2,285
税金等調整前四半期純損失(△)	△842
法人税、住民税及び事業税	24,326
少数株主損失(△)	△3,366
四半期純損失(△)	△21,802

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません

「参考」

前第1四半期に係る財務諸表  
(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額
I 売上高	1, 117, 112
II 売上原価	745, 897
売上総利益	371, 214
III 販売費及び一般管理費	291, 297
営業利益	79, 917
IV 営業外収益	25, 236
V 営業外費用	16, 796
経常利益	88, 358
VI 特別損失	694
税金等調整前四半期純利益	87, 663
税金費用	46, 433
少数株主利益	1, 148
四半期純利益	40, 081